



Cyva

迅速で安全な取引を実現する 分散型仮想通貨

*現在の流動性問題、速度、移転コストを解決。
必要なものをすべて提供。*

目次

概要	3
用語集	3
問題	4
取引の匿名性なし	4
取引をマークする能力の欠如	5
低速プロトコル操作	5
高い取引コスト	5
発掘にかかる高い電力コスト	5
時代遅れの作業証明書 (PoW) プロトコル	6
市場とエコシステムの隔離	6
解決策	6
匿名取引	6
発掘にとって好都合な条件	7
ハイスピードプロトコル	7
比較表	7
低い取引コスト	8
「人工的」エネルギーコストの欠如	8
統合機能	8
ブロックチェーン CYVA	9
技術的特徴	9
CVA コイン	9
取引	10
CVA発掘	10
商品	12
ブロックチェーンデーモン	12
CLI ウォレット	12
他の API	12
Web ウォレット	12
ブロックチェーンエクスプローラ	12
開発プラン	12
ICO (初期コイン提供)	13
ICO 仕組み	13
免責事項	14

概要

現在世界では、実際のビジネスやプラットフォームに結びついていない数十の仮想通貨/コインがあります。最も有名なコインはビットコインです。あらゆる欠点にも関わらず、世界中の何百万という人々がこの仮想通貨を使用しています。ビットコインウィキ(Bitcoin Wiki¹)によると、すでに2200万以上のビットコインウォレットが世界で作られています。また、ケンブリッジ大学の研究によれば、2.9~580万人がビットコインを積極的に利用しているといわれています。この盛大な人気は2017年にビットコイン(BTC)の成長を15倍に導きました。

しかし、次に何が起こったのでしょうか？2018年の初めから、ビットコインは約70%という凄まじい記録をしました。言い換えれば、誰もがすでにコインを購入していたということです。またその時は新しい買手がまだ市場に出回っていない状態でした。このような状況では、投資家と投機家は他の仮想通貨通信に細心の注意を払っています。また、仮想通貨資産が少ないことは、それほどの潜在的な収益が高くなることを示します。したがって、最大の関心は、市場に流入しているコインに現れます。そのコインには、急速な成長の可能性だけでなく、ネットワーク帯域幅の問題や取引の完全な匿名性の問題を解決する能力など、より現代的な技術を持つという利点を持っています。

新しい仮想通貨CVAは、最も適切な瞬間に市場に参入します。業界の一般的な停滞を考慮すると、最も有望な技術への投資を最大限にすることができる、今や独特な機会が開かれているのです。

用語集

匿名転送 - 2人の加入者間の追跡不可能なトランザクション。レコードはブロックチェーン内に暗号化された形式で格納されます。トランザクションの当事者だけがそれを解読することができます。

ブロックチェーン - 特定のルールに基づいてトランザクション情報を含むブロックの連続した連続したリンクチェーン。

トランザクション - ブロックチェーンに格納されているアクションに関するサブスクライバレコードによって署名されています。

仮想通貨ウォレット - ブロックチェーン内でのトランザクションの署名を可能にするユーザーの一意のアドレス。

¹ Bitcoin Wiki. How many people use Bitcoin?:
https://en.bitcoin.it/wiki/Help:Introduction#How_many_people_use_Bitcoin.3F

発掘 - ブロックチェーン内のブロックを作成し署名することによってネットワークを維持する活動。

ノード - 取引とブロックに関する情報を他のノードと交換するために分散型P2Pネットワークに接続されているコンピュータ。

ミニネル - ブロックチェーンの発掘に関わる特別なノード。

事前発掘 - プレリリースされたコインまたはプロジェクトトークンの一定数。

ネットワーク帯域幅 - 単位時間あたりの取引数。

ブロックサイズ - ブロックに格納できるデータの最大量。

ハッシュ - 任意のサイズのソースデータを受け取り、処理し、厳密に固定サイズの出カデータをリリースする数学的プロセス。

PoWプロトコル (Proof-of-work) - 参加者の集約されたコンピューティングパワーによってネットワークセキュリティが保証される概念。このため、ネットワークはDDoS攻撃を効果的に抑制し、システムのブロックやユーザー要求の処理に失敗する可能性があります。

プロトコルPoS (Proof-of-stake) - ブロックチェーンネットワークが分散コンセンサスを達成するためのアルゴリズムの一種です。ブロックチェーン内の次のブロックを形成する参加者の確率が、所定の暗号暗号のユニットのシェアに比例する確率が、暗号の全ユニットにおけるその特定のメンバに属する。

問題

主権国家の中央権威によって発行され規制される伝統的な金銭とは異なり、暗号化された通貨は規制されていない投機的な市場で形成されます。このような市場で一定の安定性を達成するプロセスは、まだ観察されておらず、Bitcoinの価格は2018年後半には揮発性が低いことが僅かな進歩で確認されていますが、ボラティリティと操作の影響が多く、仮想通貨所有者が現在直面しています。

取引の匿名性なし

BitcoinやEthereumのような仮想通貨の問題は、進行中の取引が暗号化されていない形式で公開されているブロックチェーンに記録されていることです。これにより、

取引を直接追跡することも、利用可能なソフトウェアを使用して追跡することもできます。Zcash、Monero、Verge、Dashなどの暗号化通信では、セキュリティとプライバシーが強化されています。しかし、今日では、既存の暗号化通貨の取引に関する情報の絶対的な安全性について絶対的な信頼をもって宣言することは不可能です。たとえば、完全な匿名性に関するダッシュの経営陣の大きな声明にもかかわらず、ネットワーク上の取引を追跡する方法はまだあります。

取引をマークする能力の欠如

従来の世界では、銀行振込を行う際に、支払いの目的を指定することができ、特定の場合には支払いの目的を指定する必要があります。しかし、一般的な暗号化通信では、この機能は完全に実装されていないか、まったく実装されていません。例えば、Ethereumネットワークは取引にメッセージを添付することを可能にするが、プロセスは通常のユーザーにとっては時間がかかり、あいまいである可能性があります。したがって、改善された取引マーキングが必要不可欠です。

低速プロトコル操作

瞬間的な計算に多くの一般的な暗号化通貨を使用するための重要な問題。低帯域幅のブロックチェーンの問題は、需要の多い暗号化通信に影響します。たとえば、Ethereumブロックチェーンでは、1秒あたり約5回の取引しか確認できません（通常の条件では最大20まで）。そして、しばしば、取引時間は、むしろ1時間または数時間かかると言われています。Bitcoinは、処理速度を上げた後でも、1秒あたり最大7つの取引を提供します。Litecoinへの転送速度は約30分（1秒あたり約56取引）です。ダッシュは平均15分（1秒あたり48回の転送）です。しかし、これは、快適で即時の大量支払いのためには十分ではありません。真の支払い手段として暗号通貨の受け入れに悪影響を与えるのはこの問題です。クレジットカードによるお支払いは、購入手続きをすぐに完了することを可能にします。一方、ネットワークが所定の時間に大量にロードされている場合、暗号化の支払いは数時間かかることがあります。

高い取引コスト

大部分の暗号化通貨では、取引を実行するコストはネットワークの負荷に正比例します。取引が多いほど、キューが大きくなり、特定の取引ごとにコストが高くなります。その結果、ネットワークの負荷が高い場合やボラティリティが高い場合は、翻訳コストが数十倍に増加しやすくなります。

発掘にかかる高い電力コスト

発掘に使用されるハードウェアにかかわらず、あらゆるタイプのPoW（作業証明）プロトコルは非常にエネルギー集約的です。The Independentによると、BTCは2018年末までに世界の電力の0.5%を消費することになります。これは容量の大きな犠牲になるだけでなく、世界の生態系に悪影響を及ぼします。

時代遅れの作業証明書 (PoW) プロトコル

この方法は、前世紀の90年代に発明されたものであり、かなり複雑で長い計算が必要です。ブロックを生成するために必要な電力が一定して増加すると、電力消費量が増加し、多くの暗号化通信の現在の価格で単純に無意味となってしまう発掘コストが増加します。PoWプロトコルは帯域幅が狭く、ハッシュ・パワーの51%を制御する人（例えばBTCの場合）が取引を取り消し、コインを自分自身に割り当てる能力を有する場合には、「51%アタック」の対象となります。ただし、この攻撃はスマートな契約によっても実行できません。多くのトークン所有者からかなりの数のEtherが盗まれた場合、Ethereumで同様のケースが発生しました。ETHからハイブリッドPoW / PoSシステム「カスパー」への移行は理論的にこの問題を解決すべきであります。しかし、新しい技術の完全な実装は難航していますが、ユーザーはPOWプロトコル上の「伝統的に使われてきた」仮想通貨の欠点を補う必要があります。

市場とエコシステムの隔離

大部分の仮想通貨が分散型でオープンソースのソフトウェアであるにもかかわらず、特に従来の金融商品との相互運用性と統合は、ネイティブ機能が提供されていないため、非常に遅く、場合によっては不可能です。

ほとんどの仮想通貨は、戦略的かつ長期的な開発計画がなく、または運営上の決定を下す能力がないため、コミュニティによって開発されています。これは、伝統的な金融機関との協力や既成市場への導入に対する管理上の障壁となります。

解決策

CYVAは独自のブロックチェーンを基盤とした画期的なグローバルなフィンテックエコシステムです。既存のソリューションとは異なり、CVAコインは、金銭的なお金としての使用に便利であり、同時に暗号が提供するすべての利点を保持します。

CYVAエコシステムは革新的なProof-of-stakeコンセンサスアルゴリズムを使用し、支払いカードとのシームレスな統合と操作性を提供し、超高速取引の経験を提供します。

匿名取引

CYVAは、世界中に分散されたノードを含む円形リング署名の方法に基づいたマルチレベルの取引構造を使用します。これにより、匿名性と独立性というデジタル通貨の主要原則を維持することができます。

すべての取引はブロックチェーンネットワークに記録されます。同時に、プライベートSEND機能を使用して、迅速かつ完全に匿名の転送が可能になる可能性があります。

比較のために: Dashをそのような人気のあるコインにしたのは、この非常に個人的な支払いの能力です。別の仮想通貨- Moneroは、当事者によって行われた操作の匿名性のために隠しアドレスとリング機密取引 (RingCT) を使用します。Zcashコインは、同じ目的でzk-SNARKプロトコルを使用します。これは、情報の転送を確認する数学的計算に基づくアルゴリズムですが、その内容は明らかにしていません。

発掘にとって好都合な条件

発掘者は取引手数料の100%だけでなく、ブロック報酬の一部も受け取ります。発掘の条件は、特定の時点でのネットワーク負荷にかかわらず、強力な経済的インセンティブと相まってネットワーク要件に適合します。

比較のため: 有名なNEMブロックチェーンのマザーノードの収益性はかなり高いレベル (年率5~20%) です。しかし、巨匠を育てるためには、300万銭のコインが必要です。この要件を満たすことができるユーザーはほとんどありません。次に、生態系の参加者は、特定のリアルタイムネットワーク要件を前提として、CYVAの発掘者になることができます。

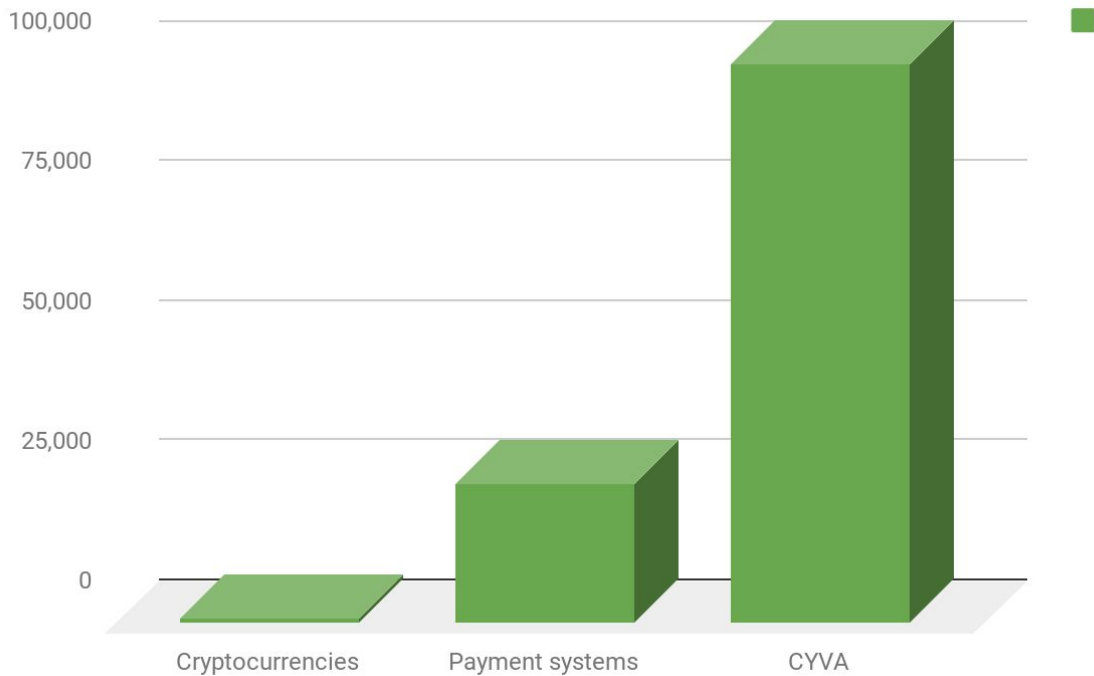
ハイスピードプロトコル

CYVA Blockchainは、毎秒100,000取引を超えるスループットと組み合わせることで、即時確認が必要な計算にCVAコインを使用できるようにする、超高速取引の実行を可能にします。この決定は、世界中の小売業および現物取引における取引を円滑に進めるためにコインの使用を開始する上で重要です。

比較表

CVA転送の速度と一般的な仮想通貨と紙幣システムを、毎秒の取引数で比較します。

- 人気のある仮想通貨通信 (Bitcoin、Ethereum、Ripple) の1秒あたりの平均取引数 : 1,000
- 一般的な支払いシステム (VISA、Mastercard、Paypal) の1秒あたりの平均取引数 : 25,000
- 1秒あたりのCYVA取引数 : 100,000



低い取引コスト

巨大なネットワーク帯域幅のため、事実上再起動は必要ありません。したがって、取引が「より速く」実行されるために追加の資金を支払う必要はありません。したがって、CYVAブロックチェーンの移転コストは一定であり、手数料の10%から100%を失うことなく、小額の支払いを行うことができます。比較のために、BitcoinとEthereumのネットワークはユーザーに移転のスピードを上げるために印象的な手数料を支払わなければなりません。

「人工的」エネルギーコストの欠如

変更された改良された立証（mPoS）：CYVAは、エコシステム参加者から特別な機器（ASICまたはパワフルなビデオカード）を必要とせず、作業負荷に関係なく安定したネットワークパフォーマンスを保証するプロトコルの利点をすべて保持します。

統合機能

さまざまな金融商品、特に支払カードにリンクされた決済システムとのCVA仮想通貨を統合できる可能性があります。ユーザーは、最低限の手数料でリアルタイムの直接変換とCVA暗号化との間でお金の入出金を行うことができます。これは、仮想通貨市場の発展の全く異なるレベルです。これは、プロフェッショナルや仮想通貨愛好家だけでなく、あらゆるユーザーに絶対に利用可能になった時に適用されます。

ブロックチェーン CYVA

独自のmPoSコンセンサスベースのブロックチェーンで、CYVAのインフラストラクチャの高効率な運用を実現します。

技術的特徴

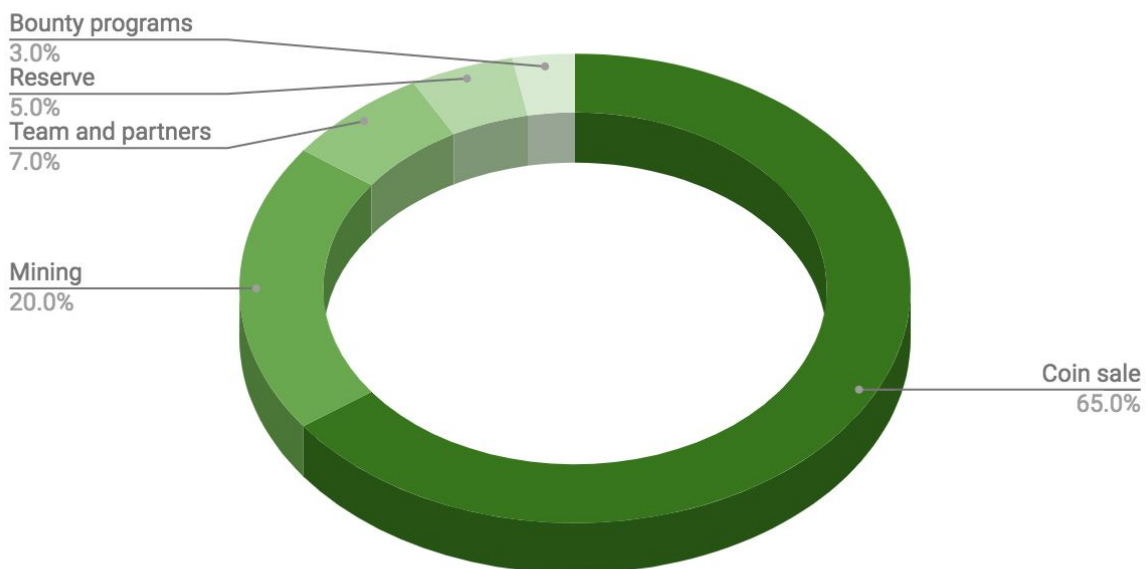
- ・ CYVAエコシステムの要件に従って修正されたmPoSコンセンサスを持つ元のブロックチェーン。
- ・ CYVAブロックの音量は4 MBで、ネットワークのニーズに応じて変更できます。
- ・ ブロック時間 - 30秒 - 大規模なP2Pネットワークを通じた効果的なブロック配信に最適。
- ・ スループット - 1秒あたり最大100,000取引。
- ・ 「保留中の取引」の時間 - 確認に2分数秒しかかかりません。

CVA コイン

発行されたCVAコインの総数は限られており、1,000,000,000を超えていません。CVAは、ポイント（CVA：0.00000001）後に小数点以下8桁までの分割可能なデジタルコインです。

コイン配当:

- 65% コイン販売
- 20% 発掘
- 7% チームとパートナー
- 5% 組織準備
- 3% 賞金プログラム



取引

CYVAネットワークは、2人の参加者間の通常取引と参加者の隠れたデータによる匿名取引の2つの方法で取引を実行する能力を提供します。

取引の匿名化は、複数の当事者を含むリング取引によって提供される。取引秘密のレベルは参加者の数に依存し、したがって取引手数料に影響します。

取引手数料は取引金額に依存せず、ネットワークトラフィックに基づいて分散した投票コミュニティによって決定されます。

CVA発掘

採掘するコインの総数は200,000,000CVAです。報酬は、以下の式に基づいて、作成された各ブロックに基づいて行われます:

$$R_n = k \cdot T \cdot (1 - k)^{n-1}$$

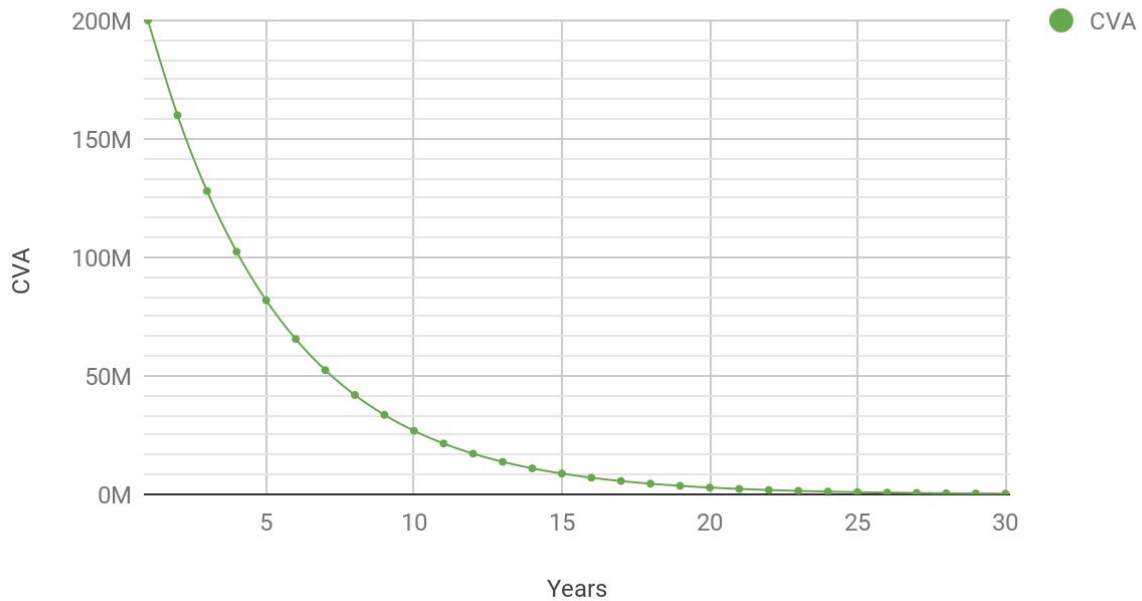
$$k = 0.2$$

T = 採掘総数

R_n = n 年以内の採掘を目的としたコインの合計

最初の30年間のコイン採掘のシミュレーション

Remaining CVA



ステークホルダー

ステークホルダーは、ユニットの現在の報酬の少なくとも50倍以上のプラスのバランスを持つユーザーです。

フルノード

完全なノードは、ピアツーピアネットワークと中断のない通信を提供し、ブロックチェーンを完全に格納する任意のユーザーです。

発掘者

発掘者は、発掘することを宣言し、発掘の全期間にわたって特別なエスクロー口座に凍結された必要な金額を提供する完全なノードを所有できます。資金の量は、発掘者になりたい人の毎日のオークションによって決定されます。発掘者の数は、ネットワークの負荷に応じて自動的に決定されます。発掘者はいつでも活動を停止し、エスクローからの資金を解凍することができます。

ブロック賞金配当

- 10% 発掘者
- 90% ステークホルダー

取引コスト配当

発掘者だけが取引手数料を受け取る資格があります。各発掘者は、彼が作成したブロックに含まれるすべての取引から手数料を受け取ることができます。手数料は、ブロック内の取引の数によって異なる場合があります。

商品

主なソリューションに加えて、プロジェクト全体の動的な開発を促進する多くの他の補助製品を実装する予定です。

ブロックチェーンデーモン

ピアツーピアネットワークへの接続、ブロックの同期と検証を行うソフトウェアです。

CLI ウォレット

オペレーティングシステムのコマンドラインからアドレスの作成、CVAの送受信を有効にします。

他の API

外部システムとCVAを統合する機会を提供するプログラミングインタフェースです。

Web ウォレット

ユーザーがアドレスを作成したり、CVAを送受信したりできるカスタマイズされたモバイルインターフェイスを備えたサイトです。

ブロックチェーンエクスプローラ

ブロックチェーンエクスプローラは、ブロックチェーンネットワーク内の取引の追跡を可能にします。

開発プラン

CVAは、ユーザーだけでなく、金融市場のプロの主要プレーヤーの大きなコミュニティを作り出しています。人気度とユーザー数が増加するにつれ、人気のある支払いシステム、財布、取引所などとのさらなる統合が実現されます。

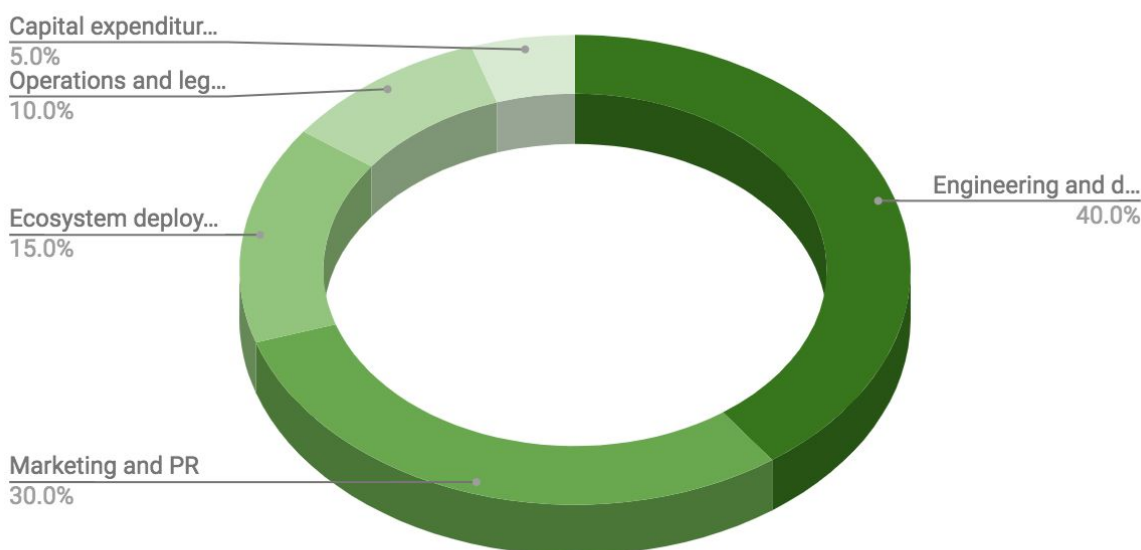
CYVAソフトウェアはオープンソースであり、動的開発はコアチームだけでなく、開発者コミュニティやプロジェクトパートナーによっても提供されます。

ICO (初期コイン提供)

初期コイン提供は、プロトタイプや概念証明を含む、生態系の開発の資金調達を促進し、マーケティング、戦略的協力、運営コストの構築、および法律および行政経費のための資金を提供するものとします。

資金配当:

- 40% エンジニアと開発
- 30% マーケティングとPR
- 15% エコシステム解説
- 10% オペレーションと法務費用
- 5% 資本支出



ICO 仕組み

販売可能なCVAコインの総数は、トークンの売却のためのボーナス・ファンドを含む、650,000,000（合計の65%）です。

日付: CVAコインの販売は11月に始まり、トークンの販売総額で2ヶ月以内に終了します。

CVA名目値: 0.000005 BTC

ソフトキャップ: 1次配置の総量の25%。

すべてのボーナスが支払われた後、ボーナスを支払うために残されたコインと同様に、売られていないコインは、鉱山プール - 80%と準備金 - 20%の間で再配分されます。

CVAコインは、BTCとETH、またはパートナー交換プラットフォームで利用可能な他の通貨で購入することができます。他の通貨のBTC比率への為替レートはリアルタイムで形成され、米ドルで集められた合計金額は現在の為替レートによって変わる場合があります。

ボーナススケジュール:

25% - 最初の10日間 (事前販売)

15% - 11日目から20日目まで

10% - 21日目から30日目まで

5% - 31日目から50日目まで

免責事項

CVAコインを購入する前に、この文書をよくお読みください。あなたの行動に完全に自信がない場合は、まずあなたが所属する管轄区域で法律、税金および財政に関するアドバイスを受けてください。

ウェブサイトまたはプロジェクト文書に掲載された情報は、網羅的または完全であるとはみなされません。これは、CYVAと他の誰との間にも契約上の義務が存在しないことを意味します。この資料は、文書またはプロジェクトのウェブサイトに反映された問題に関する法的アドバイスとしては機能しません。

初期配置中にCVAコインを入手し、計算、鉱業などの手段として使用することは、規制されていない操作です。バイヤーにとって、この操作はさまざまなリスク、CVAコインを購入するために使用された資金の損失に関連している可能性があります。

人の一部のカテゴリは、プロジェクトの範囲から除外される場合があります。その中には、米国、シンガポール、韓国の市民だけでなく、欧州指令2011/83 / UEの対象となる消費者も含まれます。